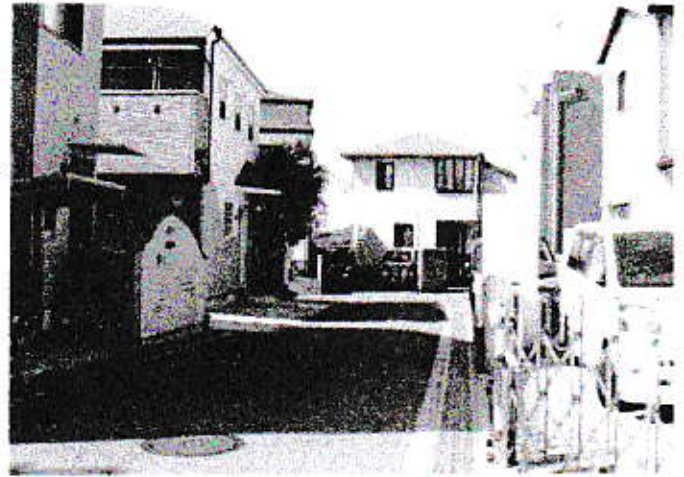


いるのも関係が在るのです。

空き家問題

高齢化社会を迎えて、最近空き家が増加しています。皆さんは高齢化社会とは自分自身が高齢になる為と考えておられますが、それよりも大きな要因は、昔と異なり多世代で同居する世帯が少なくなり、子供や孫など若い世代が他の地区に移住する為、地区の高齢者の割合が高くなることです。特に旧集落では、この傾向が強いのです。子や孫と同居している場合は、家屋敷の将来像を常々話し合い一定の合意が形成出来ていますが、別々に暮らしている場合は、高齢者が施設に移ったり、亡くなったりしますと、子や孫たちはにわかに移住する訳にもゆかず、措置に困ります。加えて税制の問題点で、200㎡以下の場合、住宅を建てると固定資産税が1/6に軽減されますが、**建物を撤去して更地にしますと本来の税額に戻ります。つまり6倍に跳ね上がる為、空き家の状態で放置されます。**全国的にこの空き家が増加し防犯や火災危険、老朽による倒壊などが問題化しています。対策として昨秋の特



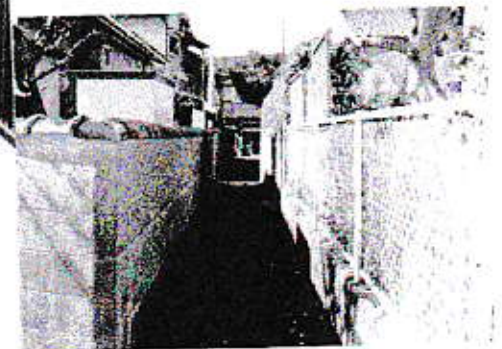
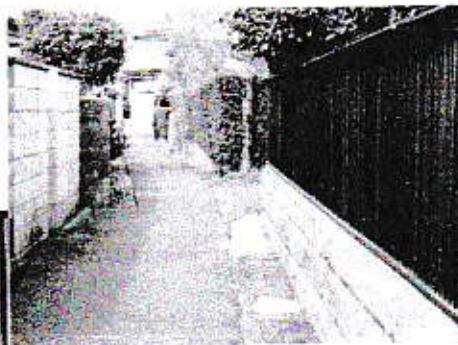
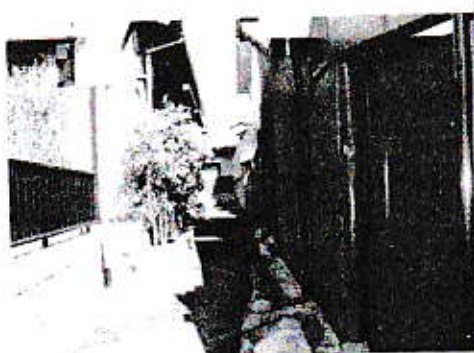
別措置法の成立を受け、倒壊危険な家屋に対して28年度から税の軽減措置が廃止される見込みです。市内にもこの様な空き家が存在し、しかも周辺道路が極端に狭隘で、建物を撤去するにも重機の進入すら儘ならないケースが見られ、狭隘な道の解消のネックになっています。

おわりに

かつて箕面市は大規模な区画整備事業で、街づくりに大きく貢献しましたが、既存市街地では持ち主の同意が得にくく、道路拡幅など非常に難しい現状の中で、関係部署では地道に一步一步努力を積んでおられます。

その成果が前記の細道の拡幅が目に見える形になってきました。昔ながらの情緒のある佇まいが失われることは残念ですが、安全な街づくりに市民も関心をもって見守ろうではありませんか

(大町 凱彦)





タウンウォッチング

私達の住む美しい『みのお』を
再発見しましょう

みのお市民まちなみ会議では、毎年8回タウンウォッチング(まちあるき)を行い、皆さんと一緒に街を見て歩いております。自由参加ですので、歩きながら「路上観察」しましょう。街に在る新旧取り混ぜて面白いもの、おかしなもの、引っ掛かるものを歩きながら発見し、箕面の街並みを楽しんでは如何ですか。建物から始まって 門、塀、屋根、瓦、看板、側溝、石垣、樹木、草花など歩きながら、何でも興味を持って見ましょう。箕面のことを知るには、街歩きが出发点です。

今回は、古民家探索シリーズと関連して特別例会の宝塚市小浜宿探訪を紹介しします。散策の参考にして下さい。

まちなみウォッチング 第84回
坊島・白島・石丸・如意谷の周辺

2014.9.20

箕面の古民家 探索シリーズ(第四回)



ウォッチングコース 歩行距離 約 3.3Km

白島B/S → 坊島集落(古民家探索) → 白島集落(古民家探索) → 石丸集落(古民家探索) → 白島荘 → 白島3丁目(古民家探索) → 巡礼道 → 如意谷集落(古民家探索) → 巡礼道 → 北向き地蔵 → サンプラザ横本通り(解散)

白島バス停を出発して、坊島公園を過ぎて細道に入ると、長屋門の達家さん宅の前に出ます。長屋門に続く黒塗りの板塀が白壁に改造され、縦に細長の切り込みが在り、庭の様子が眺められます。夜には灯りが漏れて、温かなな雰囲気です。古民家を新しい街並みづくりに活かした嬉しい試みです。

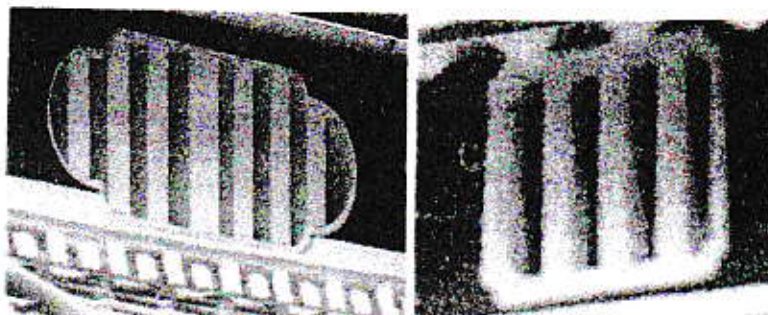
坊島集落は浄国寺を中心に虫籠窓(むしこまど)の古民家が沢山残っています。昔は茅葺きでしたが、茅場が無くなり瓦屋根に変わったそうです。バス通り近くの柳沢家の東北角には、邪鬼を踏みつけ宝剣を持つ守り神の持国天像が取り付けられています。

バス通りを東に進むと、左手に虫籠窓の古民家が三軒連続して見えます。虫籠窓は関西地方に多く、返子2階(中二階)部分に造られ、箕面では棟に平行な面に2,3個付けられていて、形も四角、長方形、丸、小判、小判の角



が窪んだ木瓜型、四隅の角が取れた入角型など沢山の種類が在り、調べてみるのも楽しいですよ。

新御堂筋を横断すると白島の町です。左手白島2丁目にも沢山の古民家が残っています。すぐ目に入る大きな長屋門の家も



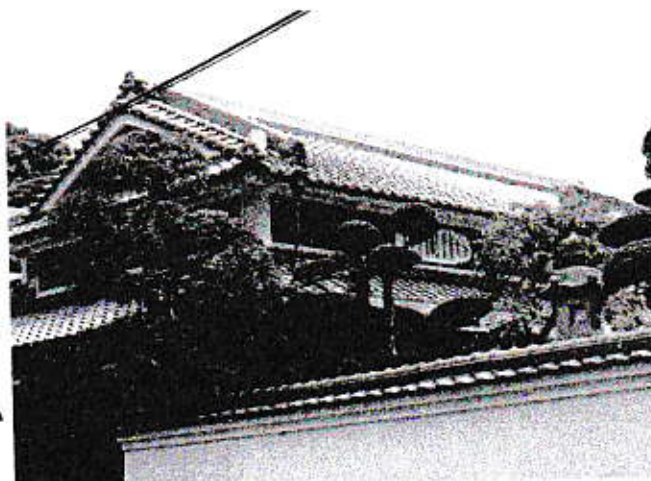
代表的な例です。北へ折れて常照寺保育所(昭和4年開設の箕面市で最古の保育所)付近でも次々と虫籠窓の家が見えます。さらに進むと、茅葺屋根の新しい民家が見えます。有名人のお住まいで、元々在った古民家を外観を活かして現代の生活に合わせて改築したもので、古民家の残る集落の景観に配慮した試みです。

白島集落を探索し、石丸方面に向かいます。千里川の手前右に指定樹木の榎(かや)が覆う印藤家も古民家です。橋を渡ると石丸集落で、右手に典型的

な蔵の残る古民家、左に長屋門の屋敷も塀越しに虫籠窓が見えます。道の左右どちらにも古民家が随所に見られます。

北へ向かって山麓線に出ると、リニューアルした特別養護老人ホーム「白島荘」が在り、隣接の「永寿荘」が廃止され、戸建て住宅街に変わります。西へ進み箕面トンネルの上を過ぎて、山手の小路(西国 33 所巡礼道)へ入ると白島3丁目、2軒の古民家が見えます。特に印藤家の木瓜型(もっこう)の虫籠窓は黒壁に白漆喰の美しいです。

山麓線を横断してすぐ右折します。角に巡礼道の小さな道標「右中山寺」が在り、太春寺を過ぎて脇道に入



ると、如意谷集落です。此处にも古民家が点在します。中でも福井家の塀に七福神の飾り瓦が在ります。箕面市内で唯一の非常に珍しいものです。ぜひ見つけて下さい。古民家の探索を終えて、巡礼道を辿ると青面金剛があり、その先で一旦途切れます。バス道を経て如意谷1交差点の手前で再び巡礼道に復帰します。一本道を直進すると北向き地蔵を経て、本通りの終点です。お疲れ様 !!

まちなみウォッチング 特別企画
宝塚市の小浜宿界隈

2015.1.17

歴史ある小浜宿の街並みを見よう





ウォッチングコース 歩行距離 約 2.2Km

JR 宝塚駅前 B/S → 阪神バス小浜 B/S → 豪撰寺(小浜御坊) → 小浜宿資料館(ビデオ説明)
 → 井川家、代官所跡 → 和田家住宅(屋内説明) → 本妙寺、皇大神社 → 首地藏 → 小浜 B/S
 → JR 宝塚駅前(解散)

阪急宝塚駅から陸橋を渡って JR 宝塚駅前の阪神バス乗り場から尼崎行きバスに乗り、小浜 B/S で下車、左手の緩い坂道を上る。小浜小学校の北角を東へ進み、正門前で北へ折れると、広い敷地に大きな建物の**豪撰寺**(解体修理中)が見えます。小浜は 15 世紀末の明応年間に浄土真宗の豪撰寺が建立され、その寺内町として発展した。大阪から伊丹を経て有馬温泉に至る有馬街道、箕面市瀬川で西国街道から分岐した京伏見街道(有馬道)、西宮へ酒や米を運んだ西宮街道、西国巡礼道が交差する交通の要所として、江戸時代に宿場町となった。また腕の良い大工が数多く輩出したことから大工の町としても知られた。



豪撰寺の北側に、**小浜宿資料館**が在る。館内でビデオによる小浜宿の歴史を観る。此の館は隣接の山中家の旧敷地に建てられた。山中家は戦国武将・山中鹿之介の末裔で、小浜で酒造を始めたと云われています。展示品は山中家に伝わった資料などが多い。また資料館の前には虫籠窓の大きな建物が在り、江戸初期から栄えた造り酒屋「菊仁」の屋号が掛かっていた。小浜宿は阪神大震災で倒壊被害が大きかったが、街並み保存運動により復旧された。



東側の代官所跡に地元の方による高札場が再建さ

れていた。(箕面の西国街道にも高札場跡が在りますが、復元されていない) 反転して資料館前の有馬街道を北進し、国府橋で深い溪谷のような大堀川を渡る。

大昔、この付近まで海で、鯛の水揚げ場だった名残で「いわし坂」の地名が付いている。また深い谷は豪撰寺寺内町の環濠とみられている。

すぐに宝塚市最古の和田家住宅が阪神大震災で半壊したが復元されていた。代々米谷村飯野藩の庄屋を務めた家で、小浜宿とは全く文化圏を異にする。

ガイドの方に丁寧な説明は、摂津・丹波型と云われる片側土間に対して居室を並べる、江戸中期の様式を伝える妻入・角屋・本瓦葺民家で、「角屋座敷」などを構えた特異なものと教えて頂いた。

